

水害や土砂災害から命を守るために！

～社会福祉施設など災害時要配慮者利用施設の管理者の皆様へ～

ステップ

①

施設の立地場所に、どのような危険があるのか確認しましょう

- 盛岡市が作成しているハザードマップや地域防災計画を見て、河川が氾濫した場合には何m浸水してしまうのか、土砂災害が起こりやすい場所ではないか等、施設の立地場所には、どのような危険があるのか確認しましょう。
- 盛岡市が指定している避難場所等※¹を確認し、そこまでの経路や移動手段について計画しておきましょう。

<盛岡市防災マップ・ハザードマップ>

http://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/anzen_anshin/hazardmap/index.html

<指定緊急避難場所・指定避難所>

http://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/anzen_anshin/shiteihinanbasho/index.html

※¹ 災害種別ごとに異なりますので、ご注意ください。

ステップ

②

盛岡市から発令される避難情報※²について確認しましょう

- 盛岡市から発令される避難情報には、以下のものがあります※³。

避難準備情報

・立ち退き避難の準備を整えます。
・気象情報、水位情報に注意を払い、自発的に避難の開始することが望ましいです。

避難勧告

・災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まっています。
・予想される災害に対応した指定緊急避難場所へ立ち退き避難します。

避難指示

・災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まっています。
・直ちに立ち退き避難します。

- 社会福祉施設などでは、自力避難が困難な方も多く利用されており、避難に時間を要することから、「避難準備情報」が発令されたら、避難を開始してください※⁴。

※² 避難情報の入手方法については、裏面をご確認ください。
※³ 必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。

※⁴ 「避難準備情報」等が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

ステップ

③

もしもの時に備えて考えておきましょう

- 例えば、以下のような状況も考えられることから、緊急的な対応について、事前に考えておきましょう。

例1: 大雨等により、避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くより安全な建物(頑丈で上階が浸水しない建物、川沿いでない建物等)に移動しましょう。

例2: 立ち退き避難すら危険と思われる場合は、施設内のより安全と思われる部屋(上層階の部屋、山からできるだけ離れた部屋)に移動しましょう。

盛岡市からの防災情報

□盛岡市ホームページ

<http://www.city.morioka.iwate.jp/>

市からの防災情報について掲載しています。

□広報車による広報(市、消防署、消防団等)

避難情報を発令した地域等を中心に広報車で巡回します。

□緊急速報メール

市内の携帯電話・スマートフォンへ向けて市からの緊急情報を一斉に配信します。(docomo、au、softbankをお使いの方)

□いわてモバイルメール

岩手県が運用している登録制のメール配信サービスで、気象情報や防災情報等を受け取ることができます。

<http://www.pref.iwate.jp/seisaku/jouhouka/mobilemail/>

□ラヂオもりおか(盛岡FM76.9MHz)の緊急割込放送

市からの緊急情報を通常放送に割り込んでお伝えします。



その他の機関からの防災情報

□いわて防災情報ポータル(岩手県)

<https://iwate.secure.force.com/>

岩手県内の防災情報について掲載しています。

□気象庁ホームページ

<http://www.jma.go.jp>

警報・注意報、台風情報、解析雨量など、気象庁が発表している防災気象情報を掲載しています。

□国土交通省防災情報提供センター

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

警報・注意報、気象情報、河川情報、降水ナウキャスト等を掲載しています。

□テレビ

ニュースや天気予報番組だけでなく、データ放送では、気象情報や防災情報について常時放送しております。

